

# 非破壊試験技術講習会開催案内

## (2019年4月:超音波探傷試験レベル2コース PART-A)

— JIS Z 2305:2013 に基づいた訓練 —

主催 一般社団法人 日本非破壊検査協会  
The Japanese Society for Non-Destructive Inspection  
<http://www.jsndi.jp/>

当協会では、2015年秋期からJIS Z 2305:2013「非破壊試験—技術者の資格及び認証」に基づく認証制度を実施致しております。JIS Z 2305:2013では受験申請資格として各NDT方法で、「訓練時間」が要求され、訓練実施記録が必要となります。

これまで、超音波探傷試験レベル2コースでは、1期間に1コース(40時間)の講習を行っていましたが、コースを改訂いたしまして、今期から1期間に2コース(PART-A、PART-B(各40時間))を行うこととなりました。こちらの2コースを受講いただきますと、JIS Z 2305:2013では受験申請資格として要求されている80時間を満たすことができます。(レベル1の要求時間(40時間)を満たしている場合)  
※2019年1月以前のコースを受講された方がPART-AもしくはPART-Bを受講されても、受験条件(訓練内容別必要訓練時間)を満たさないのをご注意ください。

本開催案内では、4月に先行して開催される、超音波探傷試験レベル2コース PART-A のみのご案内となります。(その他の講習会に関しましては、例年通り6～7月に開催されます。(募集開始:4月上旬予定))

なお、受講終了後に訓練実施記録を発行し、講習会最終日に手渡し又は郵送致します。

申し込みは以下のURLよりお申し込み下さい。お申込みは、インターネットのみで受付しております。

<http://www.jsndi.jp/education/class/>

**講習会をお申し込みの方は、必要書籍がございますのでご確認下さい。**

<http://www.jsndi.jp/education/index1.html>

### JIS Z 2305:2013 認証試験の受験申請資格

#### 1) レベル1・レベル2

各NDT方法について、認証で要求されている訓練時間を満足することが必要であり、レベル1の資格を有していない方がレベル2の受験申請を行う際には当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要となります。(受験申請時から過去5年以内のもの)。※レベル1の講習会は6～7月に開催いたします。

#### 2) 各NDT方法については、認証で要求されている訓練時間を満足することが必要です。

※講習会会場での写真及びビデオ撮影及び録音:

講習会会場における機材・試験片等の写真撮影、ビデオ撮影及び録音等は、固くお断りしておりますので、ご了承下さい。

個人情報について

講習会申込書に記入されました個人情報は、講習会関係書類の作成に使用し個人情報を遵守し取り扱います。

## 本訓練コースと JIS Z 2305:2013 認証試験で要求される「訓練時間」の対比

各NDT方法の要求される「訓練時間」に対して、今回実施される訓練コースの訓練時間の対比を表1に示します。レベル1の資格を所有しないでレベル2を直接受験する場合には、当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要です。

表1 JIS Z 2305:2013 が要求する訓練時間と訓練コースとの対比

NDT方法(略称)	レベル	JIS Z 2305:2013 要求訓練時間	訓練コース	訓練時間	追加が必要な訓練時間
超音波探傷試験 (UT)	2	80 <sup>注1</sup>	レベル2 (PART-A)	40	40 <sup>注2</sup>

注1: 要求訓練時間は、レベル1の要求時間を満たしている場合です。

注2: 超音波探傷試験については、PART-A とPART-B(6～7月開催予定)の組み合わせで受講した場合のみ受験資格が得られます。

2019年1月以前の講習会とPART-A またはPART-B との組み合わせでは、受験条件(訓練内容別必要訓練時間)を満たしませんのでご注意ください。(下記表を参考)

## &lt;参考&gt;

超音波探傷試験レベル2技術講習会の講習会受講の組み合わせと訓練実施記録との関係

(1)	超音波探傷試験レベル2 コース PART-A (本コース)	+	超音波探傷試験レベル2 コース PART-B (6～7月開催のコース)	→	受験条件(訓練内容別必要 訓練時間)を満たす。
(2)	2019年1月までの 技術講習会	+	個別訓練(不足を補う) 他機関、もしくは自社訓練に よる追加訓練	→	個別訓練が必要時間を満たし た場合、受験条件(訓練内容 別必要訓練時間)を満たす。
(3)	2019年1月までの 技術講習会	+	超音波探傷試験レベル2 コース PART-A (本コース)	→	受験条件(訓練内容別必要 訓練時間)を満たさない。
(4)	2019年1月までの 技術講習会	+	超音波探傷試験レベル2 コース PART-B (6～7月開催のコース)	→	受験条件(訓練内容別必要 訓練時間)を満たさない。
(5)	超音波探傷試験レベル2 コース PART-A (本コース)	+	超音波探傷試験レベル2 コース PART-A (本コース)	→	受験条件(訓練内容別必要 訓練時間)を満たさない。
(6)	超音波探傷試験レベル2 コース PART-B (6～7月開催のコース)	+	超音波探傷試験レベル2 コース PART-B (6～7月開催のコース)	→	受験条件(訓練内容別必要 訓練時間)を満たさない。
(7)	超音波探傷試験レベル2 コース PART-A (本コース)		個別訓練(不足を補う) 他機関、もしくは自社訓練に よる追加訓練		個別訓練が必要時間を満たし た場合、受験条件(訓練内容 別必要訓練時間)を満たす。
(8)	超音波探傷試験レベル2 コース PART-B (6～7月開催のコース)		個別訓練(不足を補う) 他機関、もしくは自社訓練に よる追加訓練		個別訓練が必要時間を満たし た場合、受験条件(訓練内容 別必要訓練時間)を満たす。

受験条件(訓練内容別必要訓練時間)を満たすには、超音波探傷試験レベル2コース PART-A(本コース)を受講した後、超音波探傷試験レベル2コース PART-B(6～7月開催のコース)を受講してください。

※ 2019年度春期は、当協会の超音波探傷試験技術講習会では「Gタイプ」のみを実施いたします。(「Rタイプ」の実施はございません)

「Rタイプ」をご希望の方も「PART-A」を受講することは可能ですが、「PART-B」の実技講習は「Gタイプ」のみとなりますので、ご注意ください。

\* 講義内容は都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

UTレベル2コース(PART-A) 会員 60,361円 非会員 67,068円 (消費税込)

講習会名	略称	地区	定員	期日	時間
超音波探傷試験レベル2 (パートA) (講義5日間コース)	UT20	東京	64名	講義 4月13日(土)~17日(水)	9:00~17:45
		大阪	64名	講義 4月 6日(土)~10日(水)	

\*(探傷器 R)(探傷器 G)共通の講習となります(講義のみ)。

訓練内容	訓練内容題目	訓練時間(h)		合計訓練時間
		講義	実習	
序論	NDTの目的、用語、歴史	4.0		40時間
	超音波探傷試験に関する規格			
超音波の伝搬と音場, きずによる超音波の反射	超音波に関する基礎	7.0		
	波の種類			
	反射、通過と屈折			
	超音波ビームの特性			
製品知識と探傷技術	きずによる超音波の反射	5.0		
	超音波探傷方法			
	製造プロセス及び供用中に発生する様々なきず 対象となる適用品			
装置	各種探触子とケーブル	7.0		
	探傷器			
	接触媒質			
	標準試験片及び対比試験片			
探傷準備	仕様書, NDT 手順及び NDT 指示書	5.0		
	試験体のきずの発生予測			
	探傷条件選定			
	適用される検査規格			
検査	探傷器の調整	5.0		
	標準試験片と対比試験片			
	直接接触法(垂直及び斜角)			
	水浸法(垂直)			
	測定範囲の調整及び感度の調整			
	きずの検出と測定			
評価及び報告	きずの評価・分類	5.0		
	きずと疑似指示の区別			
	超音波指示の解釈と評価			
検査の品質	技術者の資格	2.0		
	機器の検証			
計		40.00	0.0	

※ 受験条件(訓練内容別必要訓練時間)を満たすには、超音波探傷試験レベル2コース PART-A(本コース)を受講した後、超音波探傷試験レベル2コース PART-B(6~7月開催のコース)を受講してください。

※ 2019年度春期は、当協会の超音波探傷試験技術講習会では「Gタイプ」のみを実施いたします。(「Rタイプ」の実施はございません)

「Rタイプ」をご希望の方も「PART-A」を受講することは可能ですが、「PART-B」の実技講習は「Gタイプ」のみとなりますので、ご注意ください。

## 技術講習会書籍一覧(超音波部門)

## 超音波検査関連書籍

使用書籍：○ 参考書籍：△ (消費税込価格)

書籍名	年版	書籍略称	書籍コード	定価	会員価格	レベル1	レベル2		レベル3	UM厚さ
							PART-A	PART-B		
超音波探傷試験 I	2017	超 I	320117	2,484	2,235	○	△	△		
超音波探傷試験 II	2019	超 II	320129	4,536	4,082		○	○		
超音波探傷試験 III	2017	超 III	320137	8,208	7,387				○	
超音波厚さ測定 I	2009	超厚 I	322116	3,086	2,777	○	△	△		○
超音波厚さ測定 I 問題集	2017	超厚問	320217	1,404	1,263	○				○
超音波探傷試験問題集 ※	2002	超 問	321205	5,760	5,246				○	
超音波探傷試験 I 問題集	2017	超 I 問	321217	2,592	2,332	○				
超音波探傷試験 II 問題集	2019	超 II 問	320229	4,104	3,693		○	○		
超音波探傷試験実技参考書「デジタル超音波探傷器」編	2009	超実デ	321308	5,658	5,142	○		○		
各種成品及び溶接構造物の超音波探傷試験	2004	各 超	321570	5,965	5,451		○	○	○	
鉄骨溶接部の超音波探傷試験実施マニュアル	1999	鉄超マ	321589	4,114	3,703		△	△		
超音波探傷入門 (パソコンによる実技演習) DL版「デジタル超音波探傷器」編	2013	超入デ	321563	5,142	4,628	△	△	△		△
JIS Z 2305 :2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	△		△
他 詳解 非破壊検査ガイドブック 第2版	2018	非 ガ	600562	4,536	4,082				△	
JISハンドブック「非破壊検査」2018	2018	非 ハ	600018	14,040	12,636		△	△	△	

※超音波探傷試験レベル3の方は、「超音波探傷試験問題集2002年版」をご使用下さい。

※赤字の書籍は2018年および2019年の改訂版です。すでに書籍をお持ちの方は、年版をご確認下さい。

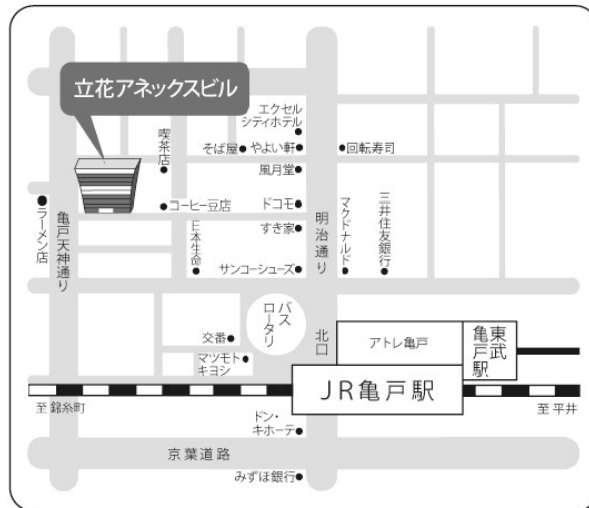
講習会会場案内

地区	会場
東京	一般社団法人 日本非破壊検査協会 亀戸センター 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル
大阪	一般社団法人 日本非破壊検査協会 堺筋センター 〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町2-2-13 大阪堺筋ビル

**\* 会場変更の場合がありますので、受講券受け取り時には必ずご確認ください。**

一般社団法人 日本非破壊検査協会  
亀戸センター 立花アネックスビル

JR総武線・東武亀戸線「亀戸駅」下車、北口より徒歩 約5分



一般社団法人 日本非破壊検査協会  
堺筋センター 大阪堺筋ビル

中央線・堺筋線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約5分

